

香港株式市場フラッシュ

人民元の国際化は中国大手国有銀行への追い風

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

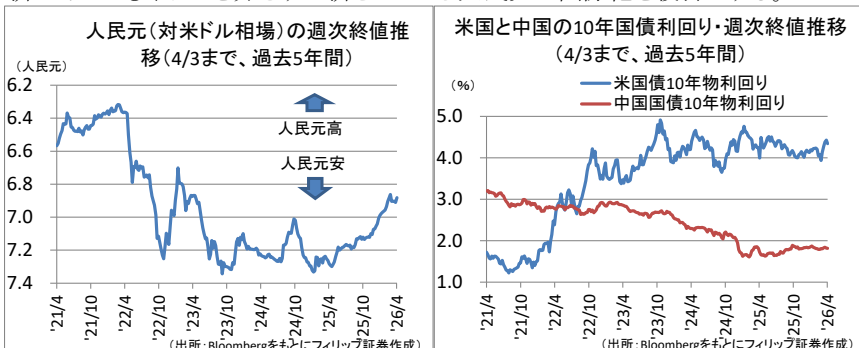
フィリップ証券株式会社

2026年4月8日号(4月8日作成)

”中国国債利回り低下と人民元高の背景に人民元の国際化“

金融市場における米ドル離れと米中の金利差拡大を背景に、主に香港で発行されるオフショア人民元建て債券である「点心債」の発行額が膨らんでいる。米中の金利差が2%に達したことから低コストの調達手段として点心債が人気化していることに加え、中国政府が元高を容認するとの見方が投資家をひき付けている。イランがホルムズ海峡を事実上封鎖し、円やユーロが対米ドルで弱含んで推移する中、中国がイランから人民元建てで巨額の原油を購入している懸念点を抱えているにもかかわらず、人民元の対米ドル相場は堅調に推移している。

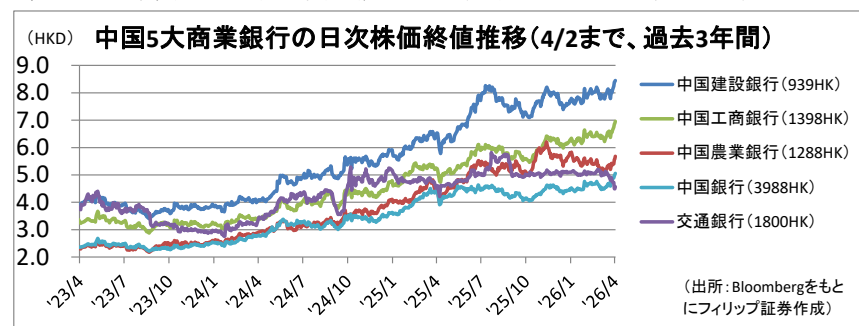
また、中央銀行の中国人民銀行は1月から中央銀行デジタル通貨(CBDC)の「デジタル人民元」に利息を付与する制度を始めた。金利は国内の商業銀行の普通預金の基準金利と同じ年0.05%であり、実名認証したデジタル財布の残高について利息を受け取れる。企業の越境決済での利用を促し、非ドル決済網の拡大を狙っているとみられる。現在の越境決済は国際的な送金インフラの「国際銀行間通信協会(SWIFT)」を使うのが主流だが、コルレス銀行を中継して銀行に送金するため数日から1週間ほどかかる。これに対し、中国人民銀行で実験中のシステムでは決済に係る時間を数秒程度まで短縮し、送金費用も最大50%減らせる。越境決済であっても米ドルを介さずに済むことから人民元の国際化を後押しする。



”人民元国際化と中国大手銀行“

中国は今年3月に開催された全国人民代表大会(全人代)に提出された政府活動報告にて、システミックリスク回避に向け、特別国債の発行を通じて国有銀行に3000億元を注入し、不良債権処理を進めるとした。中国の銀行では、長引く不動産不況や地方政府の債務問題を背景に不良債権が増加している。政府活動報告によると、政府は金融機関の競争を規制し、中小地方金融機関の統合促進に取り組む方針だ。競争の規制は国有の大手商業銀行にとって有利になると見込まれる。また、人民元の国際化進展は、中国の大手銀行にとって貿易決済での人民元需要の増加やグローバルな人民元クリアリング業務の拡大、オフショア市場での投資・金融商品サービス機会の拡大といったメリットをもたらし、世界的な人民元決済額の増加が収益の拡大につながると見込まれる。

中国国債10年物利回りが2%を下回る中、**中国工商银行(1398香港)**、**中国銀行(3988香港)**、**中国農業銀行(1288香港)**、**中国建設銀行(939香港)**、**交通銀行(1899香港)**といった中国5大商業銀行の予想配当利回りは、4/7終値でそれぞれ5%台前半に上る。人民元国際化とともに世界的な人民元需要が拡大することにより、これらの中国大手銀行は資金調達コスト低下などの恩恵を受けると見込まれる。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全100銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20260327 基準日: 20260407

順位	2025年末来騰落率・上位10銘柄	(%)	前回順位
1	新鴻基地産発展[サンファンカイ・プロパティーズ]	39.3	1
2	吉利汽車控股[ジーリー・オートモービル・HDS]	33.1	11
3	中国石油天然気[ペトロチャイナ]	28.5	3
4	中国海洋石油[CNOOC]	26.9	2
5	無錫藥明康德新薬開発[ウーシー・アブテック]	26.5	13
6	JD Logistics Inc	23.6	7
7	万洲国際[WHグループ]	22.6	25
8	中国神華能源[チャイナ・シェンファ・エナジー]	20.1	5
9	信達生物製薬[イノベント・バイオリジクス]	20.0	29
10	信義瑞瑠璃控股[信義ガラス]	19.8	4

順位	2025年末来騰落率・下位10銘柄	(%)	前回順位
100	Tencent Music Entertainment Group	-47.2	100
99	金蝶国際軟件集団[キングディー・ソフトウェア]	-36.7	98
98	Kuaishou Technology(快手)	-29.8	91
97	携程旅行網[トリップドットコムグループ]	-29.5	97
96	中芯国際集成电路製造[SMIC]	-28.6	95
95	中升控股[フォンサン・グループ・ホールディングス]	-26.9	99
94	Pop Mart International Group Ltd	-24.5	12
93	地平線机器人[ホライズン・ロボティクス]	-23.4	92
92	申洲国際集団控股[シェンジョウインターナショナルG]	-23.0	84
91	Meituan(美团)	-22.3	96

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2026年3・4月:中国主要経済指標】

- 3月27日(金)
 - ・1-2月工業利益<前年同期比>: 前回+0.6%、結果+15.2%
- 3月31日(火)
 - ・2月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.0、結果50.4%
 - ・2月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.5、結果50.1%
- 4月1日(水)
 - ・2月(RatingDog)製造業PMI: 前回52.1、結果50.8
- 4月3日(金)
 - ・2月(RatingDog)サービス部門PMI: 前回56.7、結果52.1
- 4月7日(火)
 - ・2月外貨準備高: 前回3.427兆USD、結果3.342兆USD
- 4月10日(金)
 - ・2月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+1.3%
 - ・2月卸売物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲0.9%
- 4月14日(火)
 - ・2月貿易収支: 前回+909.8億USD
 - ・2月輸出<前年同月比>: 前回+39.6%
 - ・2月輸入<前年同月比>: 前回+13.8%
- 4月9日(金)~15日(水)-
 - ・3月資金調達総額: 前回9.60兆元
 - ・3月新規人民元建て融資: 前回5.61兆元
 - ・3月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+9.0%
 - ・3月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.28%
- 4月16日(木)
 - ・3月小売売上高<前年同月比>: 前回+2.8%
 - ・3月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+6.3%
 - ・1-3月不動産投資<前年同期比>: 前回▲11.1%
 - ・1-3月固定資産投資<前年同期比>: 前回+1.8%
 - ・1-3月GDP<前年同期比>: 前回+4.5%
 - ・3月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲21.8%
 - ・3月調査失業率<前年同月比>: 前回5.3%
- 4月20日(月)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.00%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.50%
 - ・3月対外直接投資<前年同月比>: 前回▲5.7%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。